

ぐんま認知症アカデミー 第9回春の研修会

対 象	認知症に係わる保健・医療・介護職、ご家族など
日 時	平成26年6月15日(日) 13:30~18:00(受付開始 13:00~)
場 所	群馬会館 ホール
参加費	参加費として500円頂きます。
駐車場	群馬県庁駐車場をご利用下さい。(前後に長時間駐車すると料金が発生します。)
参加申込み 定 員	ホームページから、またはFAX(裏面をご覧ください)でお申し込み下さい。 先着350名程度。ホームページ(http://happytown.orahoo.com/ninchi/) で申込みと申込み状況確認ができます。
申し込み期限	平成26年6月13日(金) 15:00まで(定員に達するまで)

プログラム

13:30-13:40 幹事会の報告と第9回秋の研究発表会(12月7日(日);群馬会館)

13:40-15:10 教育講演Ⅰ 座長:田中志子 内田病院

「BPSDの評価と認知症リハビリテーション」

講師:岡山大学神経内科 教授 阿部康二先生

超高齢化社会となった日本における認知症介護の問題点は、患者の知的低下もさることながら、情動変化(いわゆるBPSD)と日常生活動作(ADL)低下への対処が重要性を増している。BPSDは暴言や攻撃性、徘徊、幻覚妄想などの陽性症状とうつやアパシーといった陰性症状に分類される。これらのBPSDの評価には筆者が開発した阿部式BPSDスコアが簡単便利である。また治療については、薬物療法は勿論重要であるが、情を以て情を制すとも言うべき認知リハビリテーションも重要である。BPSDへの対処によって患者ADLへの好影響も期待される。

15:20-16:00 県内情報 座長:松沼記代 高崎健康福祉大

「学童保育と高齢者施設の連携が生んだ健やかな暮らし」

講師:特別養護老人ホームあじさい園 副施設長 富樫和茂先生

学童保育所と高齢者施設という異なる目的の施設を繋げたことにより、お年寄り子どもからたくさんの元気をもらい、子どもはお年寄りから温もりや優しさももらっている。ともに感じ合い、支え合うことが恵みをよび、健やかに育むことを可能にした。そんな取り組みの一場面を紹介する。

16:20-17:50 教育講演Ⅱ 座長:内田陽子 群馬大学保健学研究科

「求められるのは適性ではなく技術と気づき!“ユマニチュード”と“不同意メッセージ”について学ぼう!

講師:東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 伊東美緒先生

入浴や食事のケアの時に叫んだり、掴んだりする人にも活用できる具体的なケア方法として、フランス発の“ユマニチュード”という手法を紹介。ビデオを用いながら、できているつもりでできていない基本的な理念と技術によって生じる認知症の人の変化を伝える。さらに介護施設での観察調査から導き出した認知症の“不同意メッセージ”について触れることで、職員の早めの気づきがBPSDを回避する可能性について考える。

●認知症ケア学会 認知症ケア専門士単位:2単位

●共催:群馬県 ●後援:日本認知症ケア学会、群馬リハネット

◎第9回秋の研究発表会は2014年12月7日(日)開催、演題募集があります。